

【理事会議事録】

日　時：2009年9月14日（月）13：10～15：15

場　所：山口大学　吉田キャンパス　共通教育棟2F会議室

出席者：國枝，柴田，渡邊，竹田，高田，田代，堂谷，児玉，本間，半田，小川，藤沢，小嵐，藤本（以上14名）

欠席者（書面表決状提出済）：田村（以上1名）

また，東條事務長と宮下次期事務長が出席した。

議事に先立って議長と署名人の確認がなされた。

議　長：國枝秀世

署名人：高田唯史，竹田洋一

報　告

1. 前回議事録の確認

資料1に基づいて前回（2009年6月13日）の理事会議事録が報告・確認された。

2. 開催中の秋季年会について

藤沢開催地理事と本間年会理事より目下開催中の秋季年会についての進行状況（公開講演会前日の記者会見とマスコミの反応，参加者数，正規セッション，各種企画，など）が報告された。

3. 今後の年会について

来年2010年の年会の準備状況の報告が小嵐（広島大），藤本（金沢大）の各開催地理事よりなされた。春季年会（広島大：3月24～27日）は特に問題なく着々と準備が進んでいる。秋季年会（金沢大：9月22～24日）は日程が大学の行事と重なる可能性が懸念されていたがほぼ予定通りになる見通し。さらに，ほぼ確定している今後の年会開催地が竹田庶務理事より再確認された。筑波大学（2011年春），東北大学（2011年秋），京都大学（2012年春），大分大学（2012年秋）。

4. 事業担当理事からの近況報告

半田教育理事から，本年会の公開講演会と天文教育フォーラムについての報告・予告があった。年会時に開催されるこれらの企画およびジュニアセッションに関しては，関連する理事や担当者（教育理事，年会理事，開催地理事，ジュニアセッション担当者など）の間での連絡と実務進行の分担の理解が不整合であることが判明してきたので，今後のために関係者の間で調整の上，できるだけ記録に残る形で明確化していきたいとの報告があった。

　堂谷PASJ理事によってPASJ関係の報告がなされた。PASJ飛騨天文台特集号を準備中であること，顧問会議の中心となるとりまとめ役としての幹事役を櫻井氏にお願いしたこと，など。2007年の特集号の効果か，2008年のPASJのインパクトファクターが4.4に急上昇しA&Aをも上回ったことは明るいニュースである。

　児玉月報理事は天文月報の近況の説明を行った。企画中の特集（あかり，BH時空，公開天文台活動，世界天文年），記事投稿のためのアップローダーの新規導入，など。

　本間年会理事からは，年会中の各種団体の会合の情報（場所，時間）を次期年会から外部への公開の可否等の情報も加えてプログラムに記載できるようにする話が進んでいることが報告され，それに伴う実際上の問題が議論された。

5. 「企画展」と「七ター斉講演会」について

担当者である半田理事より，日本天文学会創立100周年・世界天文年2009記念 巡回企画展“ガリレオ天体観測から400年　宇宙の謎を解き明かす”について中間報告があった。5月末から行われている同企画展は，東京・国立科学博物館，仙台市天文台に続き，新潟県立自然科学館で開催中で，各館とも動員数・内容とも好評であることが報告された。今後，名古屋市科学館，大阪市立科学館で順次開催され，1月末まで開催の予定だが，それ以降も希望する科学館などがあれば延長開催することを関係者で検討している旨，報告があり，理事会として了承した。

　続いて柴田副理事長より7月上旬に行われた七ター斉講演会に関して入場者へのアンケートの結果も含めた総括としてのまとめの報告があった。今回の聴衆は若い人が半数近くを占めたことは特筆される。一方（7/7は平日だったので）もっと参加しやすい日に行ってほしいという声があったこと，広報をもっと早くから始めるべきだった，などの反省点も。

6. 理事長公選制

ここ数カ月間理事長・副理事長を中心に検討が続けられている，会員による選挙によって理事長を決めるという理事長公選制について，選挙施行細則の試案（資料2）が國枝理事長から説明され，それについて様々な意見の交換があった（推薦人・承諾・所信表明の必要性，立候補者の数が乏しい場合の措置，など）。

7. その他

7.1 天文学辞典について

「現代の天文学」の最終巻刊行の見通しがついて全巻完結が近づいた現在，総索引を兼ねた「天文学辞典」の刊行を計画していることが百周年記念出版委員会の岡村委員長の代理として，資料3に基づき國枝理事長から報告された。現代の天文学17巻と密接に関連する企画なので実施に当たっては全著者の了解も得るべきではとの意見があった。

7.2 男女共同参画関係報告

男女共同参画委員でもある田代会計理事より，配付資料に基づき男女共同参画学協会の提言に（現提言書案におけるいくつか気づいた点には付言して）天文学会としても基本的に参加することにした旨の報告があった。

7.3 Webページ改善に向けたアンケート

天文学会のWebサイトが会員からどのように受け止められているかを調査するために，7月下旬にメールによるアンケートを実施した結果が配付資料に基づき竹田庶務理事より報告された。更なる改善を期待する意見の一方で，現行のものでも基本的な役割は十分果たしているという声も出ている。

7.4 入会申請オンライン化と入会審査手続きについて

「Webページからオンラインで入会申請できるようにしてほしい」との声がアンケートで多かったことに鑑み，来年度から現行の郵便・FAXによる申請書送付の方式に加えてWebからの入会申請も出来るように進めていることが資料4に基づき竹田庶務理事より報告された。また，現行の入会承認システム（申請に際して同時に会費を払ってもらい，仮入会扱いにして番号を発行し，3カ月に一回の理事会で承認されて正規入会となる）はいろいろ問題があるので（入会承認される前に会費を徴収するのは不合理，理事会の正式承認がほとんど形骸化している上に申請からの時間がかかりすぎる，など），改善に向けた新たな措置が竹田理事より配付資料に基づき提案された。つまり，入会申請は一週間ごとにまとめて事務長あるいは庶務理事から申請情報とともに承認の可否の暫定案が理事会メーリングリストに流され，問題があればML上で議論するが特に異論がなければその案で理事会の正式決定とみなす（会費はその正式承認により入会が決定した後に納入してもらう）というものである。これに対して特に反対意見は出なかったので来年度入会分からこの方向で進めることになった。これによって入会申請から十日程度で承認の可否を理事会として正式決定できる見込みである。

7.5 事務所職員の給与規定や就業規則の策定について

労基署からの指導の兼ね合いもあり，天文学会事務所の職員の就業規則や給与規定の策定と整備が現在宮下次期事務長を中心に進められていることが竹田理事より報告された。これらの規則は早速2010年からの運用の予定であるが，具体的な内容のまとめは次回の理事会で報告される。

7.6 会員名簿について

國枝理事長から，昨年発刊された会員名簿が（個人情報保護に配慮した結果）あまりに空白の目立つ無意味なものになったので会員からの厳しい声が出ており，来年の名簿をどうするかについてそろそろ議論と準備を始めないといけないことが述べられた。基本的に会員の所属先程度はデフォルトで出さねばならないことについては意見が一致したが，それ以上の住所や電話番号についてどういう措置をとるかは今後の議論の課題として持ち越された。

7.7 学会行事参加者の旅費・謝金の支給について

半田教育理事から，年会行事にゲスト講師を招待したときなど学会側からお金を支給する場合の基準として（会員が否かにかかわらず）

- 年会で自主的申込によって発表を行う人には旅費も謝金も支給しない
- 年会行事への参加を学会執行部から依頼した場合には旅費は支給するが謝金は支給しない。

というガイドラインが提案された。これをたたき台として会計理事が中心となって正式案を作り，次回の理事会に諮る予定。

議　題

1. 新入会員の承認

資料5に基づき，新規入会予定者のリストが示され，いずれもこのまま承認された。

2. 入会申し込み書式

来年度から正会員入会に際して現正会員1名の推薦を課するという方針に基づき，推薦人の欄を設けた新たな入会申請書式が資料6として紹介され（付記事項の文言における若干の修正の必要性が指摘されたが）承認された。

【次回の理事会】

次回の理事会は2010年1月上旬に行われる予定。

【資料】

資料1. 前回理事会の議事録

資料2. 理事長公選制について

資料3. 天文学辞典について

資料4. Webからの入会申請フォーム

資料5. 新入会員の承認

資料6. 入会申込書の書式

（当日配付分）

- 男女共同参画学協会による男女共同参画提言書案と天文学会からの 付言（田代）
- Webページ改善に向けたアンケート結果（竹田）
- 入会審査手続きについて（竹田）

2009年10月1日

議　長 國枝 秀世

署名人 高田 唯史

署名人 竹田 洋一